

平成 19 年度事後事業評価の結果について

平成 19 年 7 月 10 日
大臣官房政策評価広報課

1 概要

一定期間継続している事業等であって相当程度の社会的影響等があると認められた事業等について、当該事業の必要性、有効性、効率性等を評価。評価の結果、明らかになった課題については、予算概算要求をはじめ政策の企画立案作業に活用。

2 対象事業と評価結果（課題・今後の取組等）

5 年間の予算の合計額が 10 億円以上の継続事業等について評価を実施（7 事業）

対象事業	評価結果（課題・今後の取組等）
総合的なワンストップサービスの整備 （概要）電子政府の総合窓口（e-Gov）を活用した各府省等への電子申請を一元的に行うことができる総合的なワンストップサービスの整備	・国民等利用者の利便性の向上を更に図るための機能拡充等の措置を講ずる
タイムスタンプ・プラットフォーム技術の研究開発 （概要）タイムスタンプ・プラットフォーム技術を確立する研究開発	・引き続き成果展開を図る
高度ネットワーク認証基盤技術に関する研究開発 （概要）高度な認証機能をネットワーク側に具備させ、利便性を向上させるための基盤技術についての研究開発	・標準化活動、実用化に向けた取組等を実施し、成果展開を図る
情報通信システム整備促進事業 （概要）過疎地域等の市町村が情報通信システムを整備する場合に要する経費の一部補助を行うもの	・地域公共ネットワークの整備及びソフトの企画・開発の実施は引き続き必要である
インターネットの IPv6 への移行の推進 （概要）IPv6 への円滑な移行を実現するためにネットワーク運用上の課題解決を図り、IPv6 ネットワークへの速やかな移行を促進	・IPv6 を更に普及させるために、移行期におけるセキュリティ確保に向けた検討を行う
電波の安全性に関する調査及び評価技術 （概要）電波の安全性に関する調査及び電波の安全性に関する評価技術調査を実施	・行政が中立的な立場から更なる研究に取り組んでいくことにより、より安心して安全に利用できる電波環境を整備していく
消防防災科学技術研究推進制度 （概要）消防防災技術の研究開発を支援するための競争的研究資金制度	・産官学の連携を更に図りつつ、引き続き、制度の拡充及び改革を推進する